

# 広野中学校区小中一貫教育の研究

## 20年度 (1年目)

- 1 研究推進のための組織づくり
  - ・研究推進委員会 ・事務局開設 ・5つの部会 ・合同研修会など
- 2 小中一貫教育校として
  - ・教育目標 育てたい力 ・運営体制や指導体制の構築 ・研究主題の設定など
- 3 各部ごとの取組
  - ・児童生徒の交流・行事 ・教職員による合同授業 ・交流授業 ・宇治学のカリキュラム作成
  - ・家庭学習支援のための取組 ・各種検査やアンケート調査に基づく指導方法の工夫改善
  - ・授業での約束事の共通化など
- 4 その他
  - ・地域と連携した取組実践 ・一貫教育ニュース「フープ」発行 ・リーフレット作成

## 21年度 (2年目)

- 1 研究推進組織の再構築
  - ・研究推進委員会 ・事務局開設 ・5つの部会 ・合同研修会 ・各教科部会など
- 2 小中一貫教育校として
  - ・シンボルマークの決定 ・チェーンオブスタディ（学習内容系統表）の作成
  - ・小学校高学年における教科担当制など
- 3 各部ごとの取組
  - ・児童生徒の交流（ホットミーティング）、合同行事 ・教職員による出前授業
  - ・教科ごとの研修会と授業参観 ・宇治学の試行 ・学習システムの共通化 ・家庭学習の手引き
  - ・授業規律を高めるための授業での約束事の共通化 ・ダイナミックストレッチ体操
  - ・児童生徒理解のための取組（不登校、生活ルール集、共通アセスメント表）
  - ・養護教員、事務職部会での取組など
- 4 その他
  - ・地域と連携した取組（あいさつ標語看板設置、啓発用クリアファイル作成配布、地域行事への参加）
  - ・一貫教育ニュース「フープ」発行 ・リーフレット作成
- 5 中間発表会開催（H22. 2. 23）

【成果】 ① 教員の意識改革の芽生え ② 子どもの成長を豊かに ③ 教育活動の充実と教育効果の高まり  
④ 地域の学校としての定着化など

【課題】 ① 中1ギャップ解消に向けた更なる手立て ② 自尊感情低下への更なる手立て  
③ 教員間の意識向上と指導方法の工夫・改善など

## 22年度 (3年目)

年度当初の研究推進委員会で、3年目（最終年度）5つの柱として確認

- 1 各部会ごとの取組の継続推進
- 2 各教科ごとに小中合同授業づくり（指導案づくりと授業実践）
- 3 2年間の検証と研究紀要の作成（データ分析、児童生徒の変容など）
- 4 3年間の集大成としての研究発表会の実施（H23. 2. 3）
  - ・全日開催（午前：小学校公開、午後：中学校公開・全体会）
- 5 研究指定終了後の新たな推進組織の構築



## 21年度の活動の様子(一部)

1 運動会ボランティア



2 三校合同あいさつ運動



3 運動会ボランティア



4 大開っ子クラブへの広野中剣道部の参加



5 HOT-MEETING



6 エコキャップ回収8万個達成



7 三校合同駅伝練習



8 大久保小教員による広野中道徳で前授業



9 広野中教員による大久保小外国語出前授業



10 青少協あいさつ看板

